

Luminex

Luminexのネットワークスイッチは、AVネットワークを拡張するための優れたソリューションを提供します。ユーザーフレンドリーなインターフェイスと立ち上がり速く耐久性の高い仕様は、卓越したパフォーマンス、品質、信頼性を提供し、今や多くの機器がネットワーク対応となっているインストレーション業界にとって理想的なスイッチとなります。GigaCoreスイッチは、AES67、Dante、AVB、Q-LAN、REAC、など、インストレーション、イベント、放送業界における標準的な各種プロトコルを標準でサポートするよう設計され、初期設定の必要がなく初めから完全な調整が施されています。

GigaCore 12

GigaCore 12は、最も要求の厳しいAV機器に対処できるように設計された、マネージメントギガビットイーサネットスイッチですが、その取り扱いにはユーザーフレンドリーです。このユニットはシールドされたNeutrik Etherconによるギガビットポートを12個搭載し、非常にハードな環境での使用に適したデバイスとなっています。すべての設定はWebインターフェイスを介して行われます。



- PoE対応、非対応の2機種
- フルワイヤースピード/レイヤー2/3マネージドスイッチ
- 専用のウェブインターフェイス
- 12xギガビットEtherconポート
- ポートごとに3LED(PoE, RLinkX, Link)スピード表示
- 4つの状態表示LED: OK, PoE, RLinkX, Power
- 簡単に変更可能なGroup機能 (VLAN)、次項参照
- ユニバーサルパワーサプライ100-240V
- IEEE1588PTPV2対応
- フロント10ポートを用いて、最大150Wの電源をPoE供給可能 (PoE対応モデルのみ)

GigaCore 26i

GigaCore 26iは、より多くの接続を必要とするアプリケーション用途に最適な、GigaCoreスイッチのすべての機能を搭載したAV設備向けスイッチになります。前面に26ポートを備えています。前面にあるLED表示によって、各ポートのPoE、冗長性、およびグループメンバーシップなど、ポートのさまざまなプロパティをフルカラーで表示することが可能です。すべての設定はWebインターフェイスを介して行われます。

- PoE対応、非対応の2機種
- フルワイヤースピード・レイヤー2/3マネージドスイッチ
- 専用のウェブインターフェイス
- 24xギガビットRJ45ポート
- 4xギガビット共有SFPケージ (RJ45ポートとの共有)
- 2x追加のギガビットSFPケージ
- 4つの状態表示LED: OK, PoE, RLinkX, Power
- カラーモードLEDによるポートごとのステータス表示
- 簡単に変更可能なGroup機能 (VLAN)、次項参照
- IEEE1588PTPV2対応
- フロント20個のRJ45ポートを使い最大350wの電力を供給 (PoE対応モデルのみ)
- リダンダントパワーサプライとPoEサブライ



Software

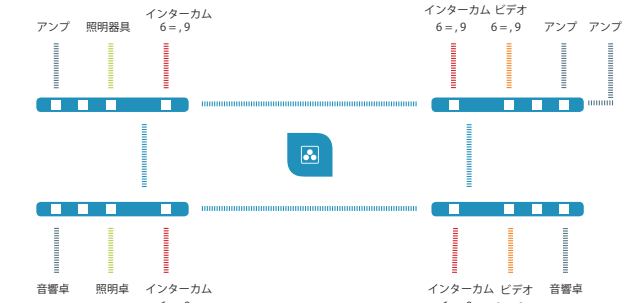
LuminexのGigaCoreスイッチは全てブラウザベースのソフトウェアから設定を行います。ブラウザベースなのでOSを問わず様々なデバイスからアクセス可能です。またソフトウェアはユーザーフレンドリーに必要な機能は直感的にコントロールすることが可能です。

Group機能

LuminexのGigaCoreスイッチは、デバイス間における任意の通信が互いにアイソレート (分離) する機能を提供します。例えば、オーディオ機器の通信と制御の通信を分離することで、意図せずトラフィックがフラディングすることを避けることができます。特にブロードキャスト通信によるトラフィックのフラディングを減らし、ネットワークパフォーマンスを向上させることに貢献します。

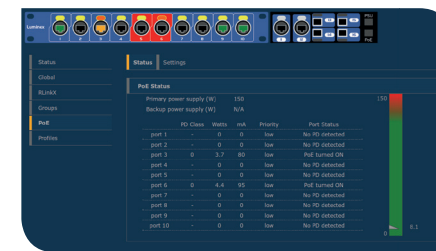


色でグループ状態が瞬時に把握できる直感的な操作画面

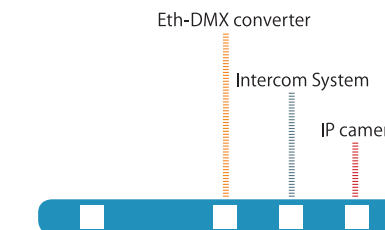


PoE/PoE+機能

PoEを使用すると、イーサネットケーブルを介して電源とデータの両方を伝送することができます。すべてのLuminexスイッチにはオプションで、“PoE+”機能があり、最大150ワットまで電力を供給できます。ポート数の多いGigaCore 26iは、24個のフロントコネクタを介して合計350ワットの電力が提供可能です。専用のウェブインターフェイスを使うと、それぞれのポートにどのくらいの電力が与えられ、どのくらいの電力が使用されているかをモニタリングすることが可能です。



PoE供給の監視・設定画面



RLinkX

GigaCoreスイッチは、デフォルトで、すべてのイーサネットポートでRLinkXが有効になります。

RLinkXはLumixリダンダントリンクの略です。ラピッドスパンニングツリーに基づいたこの冗長プロトコルは、リンク障害の発生時に、わかりやすく手間のかからない自動リカバリーシステムを提供するように調整されています。

冗長リンクを作成するためには、2つ以上の接続をGigaCoreスイッチ間につなぐだけで設定は不要です。万一、リンク障害が発生した場合、スイッチは自動的にバックアップリンクをアクティブにします。

これにより、ネットワーク内でシームレスなデータフローが実現され、安全なシステムを提供します。

